

教員活動報告（2011年1月～12月）

上好 昭孝（学長）

■論文

【総説】

上好昭孝：加齢による筋肉減少（サルコペニア）. HNL 紀流 2011, 第38号：5-83.

【その他】

上好昭孝：編集後記. 運動療法と物理療法 第22巻第3号, 2011.11.30.

■講演会

【会長講演】

上好昭孝：サルコペニア. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市中央公会堂, 2011.8.26.

【福祉関連職員教育講演】

上好昭孝：福祉1) 関節リウマチの知識～診断と治療のパラダイムシフト～, 2) 骨粗鬆症を知る～骨の仕組みと診断～. 福祉事業所連合体主催 職員研修会, 和歌山地場産業振興センター, 2011.8.7.

■社会活動

【講師】

加齢による筋肉減少症（サルコペニア）. 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ, 2011.6.19.

【学会運営】

第26回リハ工学カンファレンス 大会長. 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

【世話人代表, 座長】

第25回和歌山臨床RAフォーラム ダイワロイネットホテル和歌山, 2011.1.29.

第26回和歌山臨床RAフォーラム 和歌山東急イン, 2011.7.9.

第4回和歌山リウマチケアの会 アバローム紀ノ国, 2011.2.12.

寺山 久美子（副学長）

■著書

【共著】

河崎茂, 中村春基, 寺山久美子, 佐竹勝, 窪倉憲子, 河崎建人：座談会 がんばれOT！～新しいOT像. pp195-255. 河崎茂発行：人生は楽しい闘い・五 主戦場としての精神科医療, 藤原印刷, 貝塚, 260頁, 2011.7.

寺山久美子, 荻原嘉茂, 加藤雅子：1章 作業療法とは. pp.2-41. 石川齋, 古川宏, 小平憲子, 杉原素子, 寺山久美子 他 編著：作業療法技術ガイド 第3版. 文光堂, 東京, 1260頁, 2011.12.

■論文

【総説】

寺山久美子：作業療法の過去、現在、そして未来. 作業療法 2011, 30(1): 4-8.

【その他】

寺山久美子：災害とリハビリテーション. リハビリテーション研究 2011, 147:1.

寺山久美子：「総合リハビリテーション」のイノベーションを願って. リハビリテーション研究 2011, 148:2.

■メディア

【投稿】

追悼 花村都先生. 日本作業療法士協会ニュース, 2011.8.15.

巻頭言「夢と大慈大悲」河崎茂先生への感謝と誓いの辞. 大阪河崎リハビリテーション大学図書館報 2011, 7: 1.

■社会活動

【講師】

災害とリハビリテーション. 第6回泉州リハビリテーション勉強会, 2011.5.8.

■社会活動

【公開講座主催】

地域の子育て支援—食べるを学ぶ—. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2011.3.12.

【学会運営】

第26回リハ工学カンファレンス 副大会長. 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

第6回泉州地域リハビリテーション勉強会, 2011.5.8.

第3回泉州地域リハビリテーション研究会, 2011.10.30.

日本生活支援工学会 幹事

日本作業療法士連盟 相談役

【座長】

第26回リハ工学カンファレンス. 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

総合リハビリテーションの再生を目指してⅡ. 第34回総合リハビリテーション研究大会. 全国社会福祉協議会
灘尾ホール(東京), 2011.9.30-10.1.

【嘱託委員】

社会福祉法人 はばたき役員会

社会福祉法人 友愛十字会役員会

社会福祉法人 サンフレンズ役員会

日本ウエルエイジング協会役員会

<理学療法学専攻>

岡 健司

■国内学会

【シンポジウム】

岡健司: 自由集会「ぶら下がりの霊長類学」. 第27回 日本霊長類学会大会, 犬山国際観光センターフロイデ(犬山市), 2011.7.16-18.

【一般口演】

岡健司, 廣川容子, 熊倉博雄: シロテテナガザルのブラキエーション時における体肢関節運動の解析. 第32回
バイオメカニズム学術講演会, 大阪科学技術センター, 2011.11.26-27.

岸本 眞

■著書

【訳本】

岸本眞：第8章 活動遂行への目標指向的トレーニング. pp.129-143. Karen J. Dodd, Christine Imms, Nicholas F. Taylor 原著：上杉雅之，成瀬進 監訳：脳性麻痺のクリニカルリーズニングアプローチ 理学療法・作業療法 評価と治療. 医歯薬出版，東京，306頁，2011.4.

■論文

【総説】

岸本眞，小忝武陸，藤野文崇：筋緊張障害に対する理学療法評価と治療の再考. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:21-30.

【原著】

小忝武陸，藤野文崇，岸本眞，酒井桂太，長辻永喜：早期インターシップ介入による臨床見学実習への効果. リハビリテーション教育研究 2011, 16：81-82.

坪田裕司，岸本眞，酒井桂太，富樫誠二：本学理学療法専攻1期生の生理学と卒業時の成績の相関と予測される下級生の学力推移. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:63-69.

藤野文崇，小忝武陸，岸本眞，藤平保茂，酒井桂太：本学の理学療法専攻学生における自己効力感の縦断的变化. リハビリテーション教育研究 2011, 16：165-166.

【その他】

岸本眞：生活・訓練器具政策ブックレット「キャンディ」からの紹介. リハビリテーション 2011, 535:16-19.

■国内学会

【ポスター】

藤野文崇，原田浩介，小槇公大，小忝武陸，藤平保茂，岸本眞，酒井桂太：ハムストリングスに対する伸張法の検討—ストレッチと独自の伸張法（筋腱移行部伸張法）の比較—. 第46回日本理学療法学会，宮崎市，2011.5.27-29.

藤野文崇，小忝武陸，久利彩子，山田寛之，小原隼也，岸本眞，酒井桂太：脳卒中片麻痺患者におけるハムストリングの伸張性の改善効果の検討. 第51回近畿理学療法学会，大津市，2011.11.13.

藤平保茂，富樫誠二，藤野文崇，久利彩子，小忝武陸，村西壽祥，岸本眞，古井透，酒井桂太：臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について—「積極性がない」因子からの観点から—. 第46回日本理学療法学会，宮崎市，2011.5.27-29.

■社会活動

【公開講座主催】

地域の子育て支援—食べるを学ぶ—. 大阪河崎リハビリテーション大学，2011.3.12.

小西 正良

■論文

【総説】

小西正良，吉田愛実：セロトニン分泌に影響を及ぼす生活習慣と環境. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:11-20.

■社会活動

【講師】

中学生サマーセミナー「顕微鏡をのぞいてみよう～ミクロの世界を見てみよう」。大学コンソーシアム大阪主催、大阪河崎リハビリテーション大学、2011.8.26.

■研究助成

小西正良(研究代表), 中村美砂, 坪田裕司, 上島健, 濱裕光, 中島重義(共同研究者): 独居高齢者見守りシステム構築にむけた生活環境に潜む危険因子の検討. 大学コンソーシアム大阪 大阪の都市課題解決の実現に向けた研究事業, 1,500,000 円, 2010.9-2011.2.

小恠 武陸

■論文

【総説】

岸本眞, 小恠武陸, 藤野文崇: 筋緊張障害に対する理学療法評価と治療の再考. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:21-30.

【原著】

Takenori Komatsu, Masahiko Kotaki, Naomi Kobinata: Searching for key parameters in Human Gait speed; Two gait coordination studies. PNF FUN 2011, 5:29-33.

沖田幸治, 小恠武陸, 高橋健太郎, 藤野文崇, 浅井友詞, 河崎建人: 高齢患者の異常行動と理学療法. 理学療法 2011, 28(12):1480-1485.

勝山隆, 小恠武陸, 久利彩子: 健常若年者がスプーンを用いた食事動作における上肢関節運動の変位. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:85-93.

小滝昌彦, 小恠武陸: The influence that a gait exercise with PNF approach effects on walking ~ focus on trunk rotation ~. PNF FUN 2011, 5:34-36.

小恠武陸, 藤野文崇, 岸本眞, 酒井桂太, 長辻永喜: 早期インターシップ介入による臨床見学実習への効果. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 81-82.

鈴木順一, 河村廣幸, 武岡健次, 小恠武陸: 熱画像による靴の適合性評価の試み. 日本医学写真学会雑誌 2011, 49(2):1-6.

藤野文崇, 小恠武陸, 岸本眞, 藤平保茂, 酒井桂太: 本学の理学療法専攻学生における自己効力感の縦断的变化. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 165-166.

【報告】

長辻永喜, 津田勇人, 嶋野広一, 藤平保茂, 小恠武陸, 高橋泰子, 稲葉敏樹, 清原政人, 西出純子: 「保健・医療・福祉分野のインターンシップ」シンポジウムの報告～文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:107-124.

【その他】

藤平保茂, 藤野文崇, 小恠武陸, 富樫誠二: 臨床実習指導者が実習生の積極性を規定する因子について～自由記載による調査表から～. 近畿理学療法学会誌 40号 (CD-ROM版) 2011.

■国際学会

【一般口演】

Toru Furui, Masayo Furui, Keita Sakai, Takenori Komatsu, Yasushige Fujihira, Ayako Hisari, Fumitaka Fujino, Masayuki Kagatani, and Takashi Handa: Utility of Wheelchair Seated Posture Measurement Based on ISO16840-1. The 26th Annual International Technology & Persons with Disabilities Conference. San Diego, CA, USA. March 16, 2011.

■国内学会

【一般口演】

岩城隆久, 小恣武陸: 歩行中の精神負荷が健常人の歩行周期変動に与える影響. 第8回転倒予防医学研究大会, 東京, 2011.10.2

岩城隆久, 松井有史, 小恣武陸: 本校 OSCE と臨床評価実習の関係性について. 私立リハビリテーション学校協会 教育研究大会・教育研修会, 浜松市, 2011.8.24-26.

岩城隆久, 松井有史, 福井直樹, 北裏真己, 小恣武陸: 暗算負荷試験による精神的負荷がトレッドミル歩行に与える影響. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎, 2011.5.27-29.

川口歩, 沖田幸治, 小恣武陸: 通所リハビリテーションにおける転倒防止のための訓練 ～レッドコード・トレーナーを用いて(第2報). 第13回日本ニューラック研究会学術大会, 名古屋, 2011.1.23

小恣武陸, 藤平保茂, 藤野文崇: 臨床評価実習前後におけるストレスとその要因. 第24回全国私立リハビリテーション学校協会 教育研究大会・教育研修会, 浜松市, 2011.8.24-26.

【ポスター】

藤野文崇, 原田浩介, 小樺公大, 小恣武陸, 藤平保茂, 岸本眞, 酒井桂太: ハムストリングスに対する伸張法の検討—ストレッチと独自の伸張法(筋腱移行部伸張法)の比較—. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤野文崇, 小恣武陸, 久利彩子, 山田寛之, 小原隼也, 岸本眞, 酒井桂太: 脳卒中片麻痺患者におけるハムストリングスの伸張性の改善効果の検討. 第51回近畿理学療法学会大会, 大津市, 2011.11.13.

藤野文崇, 山田寛之, 小原隼也, 小恣武陸, 久利彩子, 古井透, 酒井桂太: ハムストリングスの伸張性改善が昇段動作に及ぼす影響. リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011, 熊本市, 2011.10.27-29.

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小恣武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太: 臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について—「積極性がない」因子からの観点から—. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤平保茂, 中谷秀美, 久利彩子, 藤野文崇, 小恣武陸: 学生が抱く臨床実習における積極性とは (2) 一学年の違いに視点をおいて—. 第51回近畿理学療法学会大会, 大津市, 2011.11.13.

■勉強会

小恣武陸, 藤野文崇, 海端俊秀, 小川成敏: Cellar Course ～蔵塾～ 和歌山勉強会, 笠松病院, 2011.1-12 (1回/月)

■社会活動

【非常勤講師】

情報科学. 河崎会看護専門学校看護第1学科, 2011.9-11.

リハビリ・運動機能学. 近畿大学生物理工学部人間工学科2年生, 2011.9-2012.1.

【学会運営】

第13回日本ニューラック学術大会準備委員長, 2011.1.23.

NPO法人 日本PNF協会(JPNFA)幹事.

日本ニューラック研究会理事.

酒井 桂太

■著書

【共著】

酒井桂太：疾患別装具の処方(3)－関節リウマチの装具. pp131-140. 石川朗編集：15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 装具学, 中山書店, 東京, 2011.4

■論文

【原著】

小柰武陸, 藤野文崇, 岸本眞, 酒井桂太, 長辻永喜：早期インターシップ介入による臨床見学実習への効果. リハビリテーション教育研究 2011, 16 : 81-82.

坪田裕司, 岸本眞, 酒井桂太, 富樫誠二：本学理学療法専攻1期生の生理学と卒業時の成績の相関と予測される下級生の学力推移. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:63-69.

藤野文崇, 小柰武陸, 岸本眞, 藤平保茂, 酒井桂太：本学の理学療法専攻学生における自己効力感の縦断的变化. リハビリテーション教育研究 2011, 16 : 165-166.

■国際学会

【一般口演】

Toru Furui, Masayo Furui, Keita Sakai, Takenori Komatsu, Yasushige Fujihira, Ayako Hisari, Fumitaka Fujino, Masayuki Kagatani, and Takashi Handa: Utility of Wheelchair Seated Posture Measurement Based on ISO16840-1. The 26th Annual International Technology & Persons with Disabilities Conference. San Diego, CA, USA. March 16, 2011.

■国内学会

【ポスター】

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小柰武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太：臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について－「積極性がない」因子からの観点から－. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤野文崇, 中口めぐみ, 山田寛之, 古井透, 酒井桂太：姿勢計測ソフト Rysis Angle の投球動作評価への応用. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 203-204.

藤野文崇, 原田浩介, 小槇公大, 小柰武陸, 藤平保茂, 岸本眞, 酒井桂太：ハムストリングスに対する伸張法の検討－ストレッチと独自の伸張法（筋腱移行部伸張法）の比較－. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤野文崇, 小柰武陸, 久利彩子, 山田寛之, 小原隼也, 岸本眞, 酒井桂太：脳卒中片麻痺患者におけるハムストリングの伸張性の改善効果の検討. 第51回近畿理学療法学会大会, 大津市, 2011.11.13.

藤野文崇, 山田寛之, 小原隼也, 小柰武陸, 久利彩子, 古井透, 酒井桂太：ハムストリングスの伸張性改善が昇段動作に及ぼす影響. リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと 2011, 熊本市, 2011.10.27-29.

■勉強会

酒井桂太：リスク管理について. 泉州育成塾勉強会, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2011.9.22.

■社会活動

【座長】

第4セクション 急性期・回復期リハビリテーション. 第6回泉州ブロック症例研究大会, 岸和田市, 2011.1.9
口述(専門)教育・管理理学療法2. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.29.

【学会運営】

社団法人日本理学療法士協会 教育・管理系専門理学療法部会 部員.
社団法人日本理学療法士協会 第47回日本理学療法学会大会 査読委員.
社団法人大阪府理学療法士会泉州ブロック 役員 学術部員.

【嘱託委員】

メディカルプレス 理学療法編集同人.
医学書院 理学療法ジャーナル編集同人.
日本理学療法士協会 理学療法学会査読委員
貝塚市介護認定審査会 委員 貝塚市役所.

坪田 裕司

■論文

【原著】

坪田裕司, 岸本眞, 酒井桂太, 富樫誠二: 本学理学療法専攻1期生の生理学と卒業時の成績の相関と予測される
下級生の学力推移. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:63-69.

■国内学会

【一般口演】

Ken Ogata, Naoya Kosami, Mika Hamaoka, Hiroko Kawano, Shiori Nakagawa, Ryo Imai, Yuji Tsubota: Effect
of undressing a compression garment after hand grip exercise on recovery from muscle fatigue. The 88th
Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, Tokyo, 2011.5.

Naoya Kosami, Ken Ogata, Hiroko Kawano, Mika Hamaoka, Shiori Nakagawa, Ryo Imai, Yuji Tsubota : Effect
of contrast icing and warming therapy on the recovery from muscle fatigue, The 88th Annual Meeting of
the Physiological Society of Japan, Tokyo, 2011.5.

Yuji Tsubota, Kazunori Iijima, Kyoko Owada: Relation between phase lags of pre-clinical waves and seizure
attacks in epileptic EEG of WER rats. The 58th Annual Meeting of the Japanese Association for Laboratory
Animal Science, Kyoto, JAPAN, 2011.5.25-27 . Exp. Anim. 60(3), 325, 2011.

坪田裕司, 井田大貴, 西林宏紀, 大和田恭子: WER ラットてんかん脳波における pre-clinical 波の位相のずれは
総発作量に関係する. 第45回日本てんかん学会, 新潟, 2011.10.6-7.

坪田裕司, 森下宗之, 津本和寿, 前尾江美, 檜垣貴徳: 前方リーチ距離と足趾把持力の関係に見る高齢者モデル
動物の必要性. 第112回関西実験動物研究会, 京都, 2011.12.2.

久利彩子, 珠数美穂, 坪田裕司: 園芸活動で用いるしゃがみ姿勢パターン (SQP) の基本肢位について. 日本園芸
療法学会, 信州大学, 2011.10.29-30.

■社会活動

【非常勤講師】

大学院生研究指導. 和歌山県立医科大学 第二生理学教室, 2011.4-2012.4.

生理学特別講義 (運動生理学集中講義と演習). 関西総合リハビリテーション専門学校 PTOT1 年生, 2011.9.16-17.

【学会運営】

日本生理学会 評議員.

関西実験動物研究会 評議員、集会幹事.

■研究助成

小西正良 (研究代表), 中村美砂, 坪田裕司, 上島健, 濱裕光, 中島重義 (共同研究者): 独居高齢者見守りシステム構築にむけた生活環境に潜む危険因子の検討. 大学コンソーシアム大阪 大阪の都市課題解決の実現に向けた研究事業, 1,500,000 円, 2010.9-2011.2.

富樫 誠二

■著書

【共著】

富樫誠二: 第6章 VI 脊髄小脳変性症. pp.124-130. 鶴見隆正編集 (シリーズ監修奈良勲): 標準理学療法学専門分野 理学療法臨床実習とケーススタディ 第2版, 医学書院, 東京, 313 頁, 2011.3.

富樫誠二: 第30章 複合障害関節リウマチ. pp.271-282. 細田多穂監修, 高柳清美 他編: 運動器障害理学療法学テキスト (シンプル理学療法シリーズ), 南江堂, 327 頁, 2011.10.

■論文

【原著】

坪田裕司, 岸本眞, 酒井桂太, 富樫誠二: 本学理学療法専攻1期生の生理学と卒業時の成績の相関と予測される下級生の学力推移. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:63-69.

富樫誠二, 古井透, 佐竹勝: リハビリ専門職における感情労働とは何か～その展望と課題～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:31-38.

【その他】

藤平保茂, 藤野文崇, 小峯武陸, 富樫誠二: 臨床実習指導者が実習生の積極性を規定する因子について～自由記載による調査表から～. 近畿理学療法学会誌 40号 (CD-ROM版) 2011.

■国内学会

【招待講演】

富樫誠二: 心理領域理学療法の現状と課題. 心理・精神領域理学療法フォーラム, 神戸学院大学, 2011.2.12.

【ポスター】

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小峯武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太: 臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について—「積極性がない」因子からの観点から—. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

■講演会

【招待講演】

富樫誠二: 人生をよりよく生きるために. 高石市アブラ小ホール, 2011.2.19.

■社会活動

【学会運営】

WCPT サブグループ心理・精神領域理学療法部門 代表幹事.

公益法人日本理学療法士協会 法規検討委員会 委員長.

広島転倒予防研究会 世話人

■その他

広島文化学園 客員教授.

理学療法ジャーナル 編集同人.

中村 美砂

■論文

【原著】

Ryohei Kono, Yoshiharu Okuno, Ken-ichi Inada, Akihiko Tokuda, Hiroshi Hashizume, Munehito Yoshida, Misa Nakamura, Hiroto Utsunomiya: Prunus mume extract stimulates proliferation and differentiation of osteoblastic MC3T3-E1 cells. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* 2011, 75(10):1907-1911.

Zhiyan Liu, Gengyin Zhou, Misa Nakamura, Eisuke Koike, Yaqiong Li, Takashi Ozaki, Ichiro Mori, Emiko Taniguchi, Kennichi Kakudo: Encapsulated follicular thyroid tumor with equivocal nuclear changes, so-called well-differentiated tumor of uncertain malignant potential: a morphological, immunohistochemical, and molecular appraisal. *Cancer Science* 2011, 102(1):288-294.

Zhiyan Liu, Gengyin Zhou, Misa Nakamura, Yanhua Bai, Yaqiong Li, Takashi Ozaki, Ichiro Mori, Akira Miyauchi, Kennichi Kakudo: Retinoid X receptor γ up-regulation is correlated with dedifferentiation of tumor cells and lymph node metastasis in papillary thyroid carcinoma. *Pathology International* 2011, 61(3):109-115.

阪上紗弓, 辻岡真由子, 岡崎綾, 中村美砂: 若年者の食行動と肥満. *日本未病システム学会誌* 2011, 17(1):1-6.

【その他】

中村美砂: 覚道教授の退官を祝す. 第49回日本臨床細胞学会秋期大会記念写真集 2011, 143-144.

■国内学会

【招待講演】

中村美砂: 腎臓でのカルシトニンと CTGF 遺伝子発現. 第4回 CCN ファミリー研究会, 岡山, 2011.8.26-27.

【ポスター】

中村美砂, 阪上紗弓: 大学生の食行動と肥満. 第18回日本未病システム学会, 名古屋, 2011.11.19-20.

■社会活動

【講師】

「骨を鍛えて健康美人!」. JA 女性会田辺ブロック班長研修会, 和歌山県田辺市, 2011.10.7.

【非常勤講師】

大学院生指導. 和歌山県立医科大学 第二病理学講座, 2011.1-3.

病理学. 河崎会看護専門学校看護第1学科, 2011.9-2012.3.

【学会運営】

日本病理学会 評議委員.

日本内分泌病理学会 評議委員.

日本内分泌学会 代議委員.

関西カルシウム懇話会 世話人.

Endocrine Journal 論文査読員.

■研究助成

中村美砂 (研究代表): カルシトニンノックアウトマウスの解析. 旭化成ファーマ奨学寄附金, 500,000 円, 2011.1-2012.12.

覚道健一 (研究代表), 中村美砂, 宇都宮洋才 (共同研究者): カルシトニンの新しい生物学的役割の研究. 常磐大学共同研究費, 800,000 円, 2011.5-2012.3.

小西正良 (研究代表), 中村美砂, 坪田裕司, 上島健, 濱裕光, 中島重義 (共同研究者): 独居高齢者見守りシステム構築にむけた生活環境に潜む危険因子の検討. 大学コンソーシアム大阪 大阪の都市課題解決の実現に向けた研究事業, 1,500,000 円, 2010.9-2011.2.

久利 彩子

■論文

【原著】

勝山隆, 小柰武陸, 久利彩子: 健常若年者がスプーンを用いた食事動作における上肢関節運動の変位. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:85-93.

■国際学会

【一般口演】

Ayako Hisari, Yuto Konishi, Masaki Yoshida: Both feet apart position in standing is appropriate for confirmation of the presence of Pseudo floating toe. 26th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology, Osaka Central Public Hall, Osaka Japan, August 24-26, 2011.

Toru Furui, Masayo Furui, Keita Sakai, Takenori Komatsu, Yasushige Fujihira, Ayako Hisari, Fumitaka Fujino, Masayuki Kagatani, and Takashi Handa: Utility of Wheelchair Seated Posture Measurement Based on ISO16840-1. The 26th Annual International Technology & Persons with Disabilities Conference. San Diego, CA, USA. March 16, 2011.

■国内学会

【一般口演】

石川大, 西野淳, 廣田正博, 稲葉敏樹, 佐竹勝, 嶋野広一, 珠数美穂, 中裕俊介, 久利彩子: 園芸療法ノススメ ~小冊子『みどりハ』作成の取り組み~. 第11回大老協懇話会, ホテル大阪ベイタワー, 2011.6.17.

久利彩子, 珠数美穂, 坪田裕司: 園芸活動で用いるしゃがみ姿勢パターン (SQP) の基本肢位について. 日本園芸療法学会, 信州大学, 2011.10.29-30.

【ポスター】

珠数美穂, 久利彩子, 佐竹勝, 稲葉敏樹, 中裕俊介, 嶋野広一, 西野淳, 廣田正博, 石川大: 園芸活動における効果と活動困難時の工夫について. 日本園芸療法学会, 信州大学, 2011.10.29-30.

藤野文崇, 小柰武陸, 久利彩子, 山田寛之, 小原隼也, 岸本眞, 酒井桂太: 脳卒中片麻痺患者におけるハムストリングの伸張性の改善効果の検討. 第51回近畿理学療法学会, 大津市, 2011.11.13.

藤野文崇, 山田寛之, 小原隼也, 小柰武陸, 久利彩子, 古井透, 酒井桂太: ハムストリングスの伸張性改善が昇

段動作に及ぼす影響. リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011, 熊本市, 2011.10.27-29.

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小恣武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太: 臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について—「積極性がない」因子からの観点から—. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤平保茂, 中谷秀美, 久利彩子, 藤野文崇, 小恣武陸: 学生が抱く臨床実習における積極性とは (2) 一学年の違いに視点をおいて—. 第51回近畿理学療法学会大会, 大津市, 2011.11.13.

■社会活動

【講師】

「足と健康」～足の裏の痛みと姿勢の関係について～. 岸和田市保健計画ウエルエージングきしわだ推進事業, 岸和田市立保健センター, 2011.8.31.

「足と健康」について. 馬場長生会おしゃれ部主催, 貝塚市馬場会館, 2011.9.14.

足と健康. 高石市公民館事業, 高石市とろしプラザ, 2011.11.11.

【ボランティア活動】

パーキンソン自主グループ「いずみ会」リハビリ指導. 「筋肉をほぐす」(2/19), 「腰痛体操」(3/19), 「すくみ足」(4/16), 「下肢ストレッチ」(5/21), 「小字症」(6/18), 「体幹ストレッチ」(7/16), 「笑顔・下肢ストレッチ」(9/24), 大阪河崎リハビリテーション大学, 善兵衛ランド他, 2011.1-12.

【編集スタッフ】

みどりハ 緑とリハビリテーションのいい関係 vol.1 創刊号. 大阪河崎リハビリテーション大学園芸療法勉強会, 貝塚市, 10頁, 2011.3.

藤野 文崇

■論文

【総説】

岸本眞, 小恣武陸, 藤野文崇: 筋緊張障害に対する理学療法評価と治療の再考. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:21-30.

【原著】

沖田幸治, 小恣武陸, 高橋健太郎, 藤野文崇, 浅井友詞, 河崎建人: 高齢患者の異常行動と理学療法. 理学療法 2011, 28(12):1480-1485.

小恣武陸, 藤野文崇, 岸本眞, 酒井桂太, 長辻永喜: 早期インターシップ介入による臨床見学実習への効果. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 81-82.

藤野文崇, 小恣武陸, 岸本眞, 藤平保茂, 酒井桂太: 本学の理学療法専攻学生における自己効力感の縦断的变化. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 165-166.

【その他】

藤平保茂, 藤野文崇, 小恣武陸, 富樫誠二: 臨床実習指導者が実習生の積極性を規定する因子について～自由記載による調査表から～. 近畿理学療法学会誌 40号 (CD-ROM版) 2011.

■国際学会

【一般口演】

Toru Furui, Masayo Furui, Keita Sakai, Takenori Komatsu, Yasushige Fujihira, Ayako Hisari, Fumitaka

Fujino, Masayuki Kagatani, and Takashi Handa: Utility of Wheelchair Seated Posture Measurement Based on ISO16840-1. The 26th Annual International Technology & Persons with Disabilities Conference. San Diego, CA, USA. March 16, 2011.

■国内学会

【一般口演】

小俣武陸, 藤平保茂, 藤野文崇: 臨床評価実習前後におけるストレスとその要因. 第24回全国私立リハビリテーション学校協会 教育研究大会・教育研修会, 浜松市, 2011.8.24-26.

【ポスター】

黒仁田武洋, 枝折雅之, 藤野文崇, 吉川榮人: 交通事故により頭部外傷の症例に対する機能的アプローチの一考察. リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011, 熊本市, 2011.10.27-29.

藤野文崇, 山田寛之, 小原準矢, 小俣武陸, 久利彩子, 古井透, 酒井桂太: ハムストリングスの伸張性改善が昇段動作に及ぼす影響. リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011, 熊本市, 2011.10.27-29.

藤野文崇, 中口めぐみ, 山田寛之, 古井透, 酒井桂太: 姿勢計測ソフト Rysis Angle の投球動作評価への応用. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 203-204.

藤野文崇, 原田浩介, 小槇公大, 小俣武陸, 藤平保茂, 岸本眞, 酒井桂太: ハムストリングスに対する伸張法の検討—ストレッチと独自の伸張法(筋腱移行部伸張法)の比較—. 第46回日本理学療法学会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

古井透, 藤平保茂, 藤野文崇, 勝山隆, 阿部真二, 榎本晃平, 末継真子: ISO16840-1 準拠の姿勢計測ツールの紹介とその可能性. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 213-214.

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小俣武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太: 臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について—「積極性がない」因子からの観点から—. 第46回日本理学療法学会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤野文崇, 小俣武陸, 久利彩子, 山田寛之, 小原隼也, 岸本眞, 酒井桂太: 脳卒中片麻痺患者におけるハムストリングの伸張性の改善効果の検討. 第51回近畿理学療法学会, 大津市, 2011.11.13.

藤平保茂, 中谷秀美, 久利彩子, 藤野文崇, 小俣武陸: 学生が抱く臨床実習における積極性とは (2) —学年の違いに視点をおいて—. 第51回近畿理学療法学会, 大津市, 2011.11.13.

山田寛之, 藤野文崇: 脳卒中片麻痺患者に対するハムストリングス伸張性の改善効果の検討. リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011, 熊本市, 2011.10.27-29.

山田寛之, 藤野文崇, 古井透, 藤井良憲: 姿勢計測ソフト 姿勢計測ソフト Rysis Angle の歩行評価へ応用の歩行評価へ応用. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 201-202.

■勉強会

小俣武陸, 藤野文崇, 海端俊秀, 小川成敏: Cellar Course ~蔵塾~ 和歌山勉強会, 笠松病院, 2011.1-12 (1回/月)

藤平 保茂

■論文

【原著】

辰巳祥史, 藤平保茂: 特別養護老人ホームにおける腫瘍による疼痛評価・コントロールへの関わり～胸髄腫瘍・脊椎管狭窄症の一症例を通して～. 南大阪病院医学雑誌 2011,58(1):71-76.

藤野文崇, 小忝武陸, 岸本真, 藤平保茂, 酒井桂太: 本学の理学療法専攻学生における自己効力感の縦断的变化. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 165-166.

【報告】

長辻永喜, 津田勇人, 嶋野広一, 藤平保茂, 小忝武陸, 高橋泰子, 稲葉敏樹, 清原政人, 西出純子: 「保健・医療・福祉分野のインターンシップ」シンポジウムの報告～文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:107-124.

藤平保茂: 閉眼での肩関節屈曲における定位への再現運動について 一屈曲角度の違いにより、難易度は異なるか. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:125-132.

藤平保茂, 西出純子: 平成 21 年度メンタルヘルス研究協議会および全国大学メンタルヘルス研究会参加報告. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:133-144.

【その他】

藤平保茂, 藤野文崇, 小忝武陸, 富樫誠二: 臨床実習指導者が実習生の積極性を規定する因子について～自由記
載による調査表から～. 近畿理学療法学会大会誌 40 号 (CD-ROM 版) 2011.

曾根典法, 高橋奈津子, 白田祐司, 藤平保茂: 歩行中のパルスオキシメーターによる使用経験—耳朶, 前額部, 手指,
測定部位を変えて—. 近畿理学療法学会大会誌 40 号 (CD-ROM 版) 2011.

■国際学会

【一般口演】

Toru Furui, Masayo Furui, Keita Sakai, Takenori Komatsu, Yasushige Fujihira, Ayako Hisari, Fumitaka Fujino, Masayuki Kagatani, and Takashi Handa: Utility of Wheelchair Seated Posture Measurement Based on ISO16840-1. The 26th Annual International Technology & Persons with Disabilities Conference. San Diego, CA, USA. March 16, 2011.

■国内学会

【一般口演】

小忝武陸, 藤平保茂, 藤野文崇: 臨床評価実習前後におけるストレスとその要因. 第 24 回全国私立リハビリテーション学校協会 教育研究大会・教育研修会, 浜松市, 2011.8.24-26.

曾根典法, 藤平保茂, 高橋奈津子, 白田祐司, 小谷弥: 臨床的体幹機能検査 FACT と大腿四頭筋筋力の比較による ADL 能力の関係について—通所リハビリテーション利用者に体幹機能評価を加えて—. 第 51 回近畿理学療法学会大会, 大津市, 2011.11.13.

【ポスター】

藤平保茂, 清岡奈津子, 谷川明香, 清水謙二: 理学療法士との連携による知的障害生徒に対する自立活動の取組 (I) —理学療法士として貢献できる生徒への運動評価を経験して—. 日本特殊教育学会第 49 回大会, 弘前市, 2011.9.23-25.

清岡奈津子, 谷川明香, 清水謙二, 藤平保茂: 理学療法士との連携による知的障害生徒に対する自立活動の取

組(Ⅱ)―巡回相談を通じて得た実態把握の視点を指導に活かす―. 日本特殊教育学会第49回大会, 弘前市, 2011.9.23-25.

藤野文崇, 原田浩介, 小槇公大, 小忝武陸, 藤平保茂, 岸本眞, 酒井桂太: ハムストリングスに対する伸張法の検討―ストレッチと独自の伸張法(筋腱移行部伸張法)の比較―. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小忝武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太: 臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について―「積極性がない」因子からの観点から―. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤平保茂, 小忝武陸, 古井透: 臨床実習指導者からみた実習生の積極性を規定する因子について―積極性の有無を問う自由記載調査から―. 第24回全国私立リハビリテーション学校協会 教育研究大会・教育研修会, 浜松市, 2011.8.24-26.

藤平保茂, 山田順子: 発達障がい傾向のある若者等が貢献できる仕事の開発―リハビリに資する具体的内容の検討 その1―. 日本心理学会第75回大会, 東京, 2011.9.15-17.

山田順子, 藤平保茂: 発達障がい傾向のある若者等が貢献できる仕事の開発―リハビリに資する具体的内容の検討 その2―. 日本心理学会第75回大会, 東京, 2011.9.15-17.

古井透, 藤平保茂, 藤野文崇, 勝山隆, 阿部真二, 櫛本晃平, 末継真子: ISO16840-1 準拠の姿勢計測ツールの紹介とその可能性. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 213-214.

中谷秀美, 藤平保茂: 学生が抱く臨床実習における積極性とは(1)―臨床実習指導者との比較に視点を置いて学年の違いに視点を置いて―. 第51回近畿理学療法学会大会, 大津市, 2011.11.13.

藤平保茂, 中谷秀美, 久利彩子, 藤野文崇, 小忝武陸: 学生が抱く臨床実習における積極性とは(2)―学年の違いに視点を置いて―. 第51回近畿理学療法学会大会, 大津市, 2011.11.13.

■社会活動

【講師】

理学療法士との連携による知的障害生徒に対する自立活動支援の取組―理学療法士として貢献できる生徒への運動評価を経験して―. 近畿障害児教育臨床研究会 第211回研究会 実践発表, 大阪府教育センター, 2011.10.22.

【非常勤講師】

介護予防論. 四天王寺大学短期大学部生活ナビゲーション学科生活福祉専攻, 2011年度.

リハビリテーション論. 四天王寺大学人文社会学部人間福祉学科社会福祉専攻, 2011年度.

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校看護第1学科, 2011年度.

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校看護第2学科, 2011年度.

大阪府立佐野支援学校 福祉医療関係人材(理学療法士)活用事業 特別非常勤講師, 2011.10-12.

大阪府立佐野支援学校砂川校 福祉医療関係人材(理学療法士)活用事業 特別非常勤講師, 2011.9-11.

大阪府立藤井寺支援学校 福祉医療関係人材(理学療法士)活用事業 特別非常勤講師, 2011.10-12.

【学会運営】

社団法人大阪府理学療法士会 泉州ブロック学術運営協力委員

【囑託委員】

社団法人 日本理学療法士協会 法規検討委員会委員。
大阪府忠岡町介護認定審査会委員。

古井 透

■著書

【共著】

古井透：パート5 脊柱と四肢の運動関連 5. 脳性麻痺の脊柱と四肢の運動関連. p115-125. 嶋田智明, 大峰三郎, 小林聖 編集：実践 Mook 理学療法プラクティス 脊柱機能の臨床的重要性と上下肢との関連, 文光堂, 東京, 163頁, 2011年1月

■論文

【原著】

富樫誠二, 古井透, 佐竹勝：リハビリ専門職における感情労働とは何か～その展望と課題～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:31-38.

【その他】

古井透：第26回リハ工学カンファレンス in 大阪. リハビリテーション研究 2011, 149:47.

■国際学会

【一般口演】

Toru Furui, Masayo Furui, Keita Sakai, Takenori Komatsu, Yasushige Fujihira, Ayako Hisari, Fumitaka Fujino, Masayuki Kagatani, and Takashi Handa: Utility of Wheelchair Seated Posture Measurement Based on ISO16840-1. The 26th Annual International Technology & Persons with Disabilities Conference. San Diego, CA, USA. March 16, 2011.

Masayo Furui, Toru Furui: The Reality of People with Disabilities after Quack, Tsunami, and Radiation Contamination. 17th Congress of Child Neurologists of Mediterranean. Piran, Slovenia. September 14-17, 2011.

■国内学会

【一般口演】

古井透, 古井正代：航空運送における合理的配慮を阻むもの～日米における電動車椅子ユーザーへの航空会社の対応の差. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN: 2186-4071) 2011, 1(26): 91-92

加賀谷将之, 古井透, Barbara Crane：日本語版 Wheelchair Seating Discomfort Assessment Tool (車椅子座位不快度評価表) の作成. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN: 2186-4071) 2011, 1(26): 163-164.

加賀谷将之, 古井透：電動車椅子ユーザーの joystick 位置が姿勢に与える影響の一考察. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN: 2186-4071) 2011, 1(26): 177-178.

【ポスター】

藤野文崇, 中口めぐみ, 山田寛之, 古井透, 酒井桂太：姿勢計測ソフト Rysis Angle の投球動作評価への応用. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 203-204.

藤野文崇, 山田寛之, 小原準矢, 小恠武陸, 久利彩子, 古井透, 酒井桂太: ハムストリングスの伸張性改善が昇段動作に及ぼす影響. リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと 2011, 熊本市, 2011.10.27-29.

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小恠武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太: 臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について—「積極性がない」因子からの観点から—. 第46回日本理学療法学会大会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

古井透, 藤平保茂, 藤野文崇, 勝山隆, 阿部真二, 榎本晃平, 末継真子: ISO16840-1 準拠の姿勢計測ツールの紹介とその可能性. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 213-214.

山田寛之, 藤野文崇, 古井透, 藤井良憲: 姿勢計測ソフト 姿勢計測ソフト Rysis Angle の歩行評価へ応用の歩行評価へ応用. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 201-202.

■社会活動

【講師】

「難病っていうけれど・・・」ネットワークサロン講演会, 大阪市立総合生涯学習センター主催, 大阪市立総合生涯学習センター, 2011.7.8.

【学会運営】

第26回リハ工学カンファレンス 実行委員長. 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 理事.

論文査読 Assistive Technology, 2011.

村西 壽祥

■著書

【共著】

村西壽祥, 山本昌樹: 23章 筋・軟部組織性障害① テニス肘, 野球肘, 手根管症候群. pp.198-208. 細田多穂監修, 高柳清美 他編: 運動器障害理学療法学テキスト(シンプル理学療法シリーズ), 南江堂, 327頁, 2011.10.

■論文

【原著】

中川法一, 西川明子, 阪本良太, 河野健一郎, 足立春美, 高橋秀行, 村西壽祥: クリニカルクラークシップに関する調査研究—臨床教育者および学生へのアンケート調査—. 神戸国際大学リハビリテーション研究 2011, 2:31-45.

■国内学会

【一般口演】

杉本純一, 村西壽祥, 松本隆幸, 櫻庭千佳, 斎藤徹也, 濱田梨絵, 阪根寛, 伊藤陽一: 組織硬度計を用いた筋の硬さ評価と肩甲骨上方回旋運動との関連性. 第8回肩の運動機能研究会, 福岡市, 2011.10.7-8.

中野禎, 村西壽祥, 新戸剛也, 桑野正樹, 平井基裕, 片岡紳一郎, 中土保, 伊藤陽一: MRIにおける棘上筋画像評価の再現性について. 第8回肩の運動機能研究会, 福岡市, 2011.10.7-8.

村西壽祥, 新戸剛也, 桑野正樹, 平井基裕, 中野禎, 中土保, 伊藤陽一: 肩関節拘縮に対する上腕骨回旋エクササイズの効果について. 第8回肩の運動機能研究会, 福岡市, 2011.10.7-8.

平井基裕, 村西壽祥, 新栢剛也, 木村祥明, 塩津貴之, 中土保: Hand-held Dynamometer を用いた背臥位による肩関節筋力測定の検者内信頼性について. 第23回大阪府理学療法学会, 大阪市, 2011.7.10.

【ポスター】

新栢剛也, 村西壽祥, 木村祥明, 福田吉治, 塩津貴之, 中津川記代, 桑野正樹, 中土保: ハンドヘルドダイナモメーターによる肩関節筋力測定の検者内信頼性について. 第46回日本理学療法学会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

中野禎, 村西壽祥, 新栢剛也, 木村祥明, 中土保, 片岡紳一郎, 森耕平, 伊藤陽一: Hand-held Dynamometer と Torque Machine との関係性. 第46回日本理学療法学会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

藤平保茂, 富樫誠二, 藤野文崇, 久利彩子, 小忝武陸, 村西壽祥, 岸本眞, 古井透, 酒井桂太: 臨床実習における実習生の積極性を規定する因子について—「積極性がない」因子からの観点から—. 第46回日本理学療法学会, 宮崎市, 2011.5.27-29.

新栢剛也, 村西壽祥, 木村祥明, 福田吉治, 塩津貴之, 中津川記代, 桑野正樹, 中土保: Hand-held Dynamometer による肩関節筋力測定の検者間信頼性について. 第8回肩の運動機能研究会, 第8回肩の運動機能研究会, 福岡市, 2011.10.7-8.

桑野正樹, 村西壽祥, 新栢剛也, 前川俊也, 平井基裕, 中野禎, 中土保, 伊藤陽一: 肩関節機能評価における運動機能テストの試み. 第8回肩の運動機能研究会, 福岡市, 2011.10.7-8.

■社会活動

【学会運営】

社団法人大阪府理学療法士会新人教育部部長.

日本理学療法士協会 代議員.

【嘱託委員】

大阪府障がい介護給付費等不服審査会 委員.

山本 昌樹

■著書

【共著】

村西壽祥, 山本昌樹: 23章 筋・軟部組織性障害① テニス肘, 野球肘, 手根管症候群. pp.198-208. 細田多穂監修, 高柳清美 他編: 運動器障害理学療法テキスト(シンプル理学療法シリーズ), 南江堂, 327頁, 2011.10.

<作業療法学専攻>

石川 健二

■論文

【原著】

山口三千夫 石川健二: 軽度認知症の診断における事象関連電位の有用性. 西宮市医師会雑誌, 2011,16:45-48.

■国内学会

【ポスター】

石川健二, 内藤泰男: MCI患者へのWMS-R: 言語・視覚領域に分類した認知評価における上肢機能と事象関連電位: P300潜時の有用性. 日本作業療法士学会, 大宮市, 2011.6.24-26.

■社会活動

【学会運営】

第45回日本作業療法士学会 演題審査委員, 大宮市, 2011.6.24-26.

勝山 隆

■論文

【原著】

勝山隆, 小森武隆, 久利彩子: 健常若年者がスプーンを用いた食事動作における上肢関節運動の変位. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:85-93.

■国内学会

【ポスター】

古井透, 藤平保茂, 藤野文崇, 勝山隆, 阿部真二, 櫛本晃平, 末継真子: ISO16840-1 準拠の姿勢計測ツールの紹介とその可能性. 第26回リハ工学カンファレンス, 大阪市, 2011.8.24-26. リハ工学カンファレンス講演論文集 (ISSN 2186-4071) 2011, 1(26): 213-214.

■社会活動

【ボランティア活動】

パーキンソン自主グループ「いずみ会」リハビリ指導. 「筋肉をほぐす」(2/19), 「腰痛体操」(3/19), 「すくみ足」(4/16), 「下肢ストレッチ」(5/21), 「小字症」(6/18), 「体幹ストレッチ」(7/16), 「笑顔・下肢ストレッチ」(9/24), 大阪河崎リハビリテーション大学, 善兵衛ランド他, 2011.1-12.

【非常勤講師】

大阪府健康医療部難病患者地域支援対策推進事業 訪問リハビリ指導, 大阪府保健所(守口保健所), 2011.1-12.

上島 健

■論文

【原著】

上島健, 安藤啓司: ぬり絵作品における制作順序に関する考察. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:95-105.

嶋野広一, 倉澤茂樹, 上島健, 水野貴子, 長辻永喜, 佐竹勝: 新入生クラス分け試験と学内成績との関連性について. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 45-46.

■国内学会

【ポスター】

上島健, 安藤啓司, 嶋野広一, 武井麻喜: 陶芸作業前後における立位バランスの変化～荒練り作業が Functional Reach に与える影響～. 第45回日本作業療法学会, 大宮市, 2011.6.24-26.

嶋野広一, 上島健, 倉澤茂樹: 新入生クラス分け試験と2年次における学内成績との関連性について. 第45回日本作業療法学会, 大宮市, 2011.6.24-26.

■社会活動

【講師】

身体運動学特論 ゲストスピーカー. 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科, 2011.7.5.

リハビリテーション医療の基礎知識（訪問介護員養成研修2級課程）、大阪府立貝塚高等学校福祉科2年生、
2011.7.28.

和歌山県作業療法士会 作業療法説明会、和歌山市男女共生推進センター、2011.8.21.

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア大阪河崎リハビリテーション大学」、河崎記念講堂他、2011年度.

【嘱託委員】

社団法人日本作業療法士協会 学会演題査読委員.

社団法人大阪府作業療法士会 広報部長.

社団法人日本作業療法士協会 代議員.

大阪市障害程度区分認定審査会 委員、大阪市港区役所.

貝塚市介護認定審査委員、貝塚市役所.

社団法人日本作業療法士協会広報業務依頼.

バリアフリー展2011 相談員、インテックス大阪、2011.4.14.

■研究助成

小西正良(研究代表)、中村美砂、坪田裕司、上島健、濱裕光、中島重義(共同研究者):独居高齢者見守りシステム構築にむけた生活環境に潜む危険因子の検討、大学コンソーシアム大阪 大阪の都市課題解決の実現に向けた研究事業、1,500,000円、2010.9-2011.2.

佐竹 勝

■著書

【共著】

河崎茂、中村春基、寺山久美子、佐竹勝、窪倉憲子、河崎建人:座談会 がんばれOT!～新しいOT像 pp195-255. 河崎茂発行:人生は楽しい闘い・五 主戦場としての精神科医療、藤原印刷、貝塚、260頁、2011.7.

■論文

【原著】

嶋野広一、倉澤茂樹、上島健、水野貴子、長辻永喜、佐竹勝:新入生クラス分け試験と学内成績との関連性について、リハビリテーション教育研究 2011, 16: 45-46.

富樫誠二、古井透、佐竹勝:リハビリ専門職における感情労働とは何か～その展望と課題～、大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:31-38.

■国内学会

【一般口演】

石川大、西野淳、廣田正博、稲葉敏樹、佐竹勝、嶋野広一、珠数美穂、中裕俊介、久利彩子:園芸療法ノススメ～小冊子『みどりハ』作成の取り組み～、第11回大老協懇話会、ホテル大阪ベイタワー、2011.6.17.

【ポスター】

珠数美穂、久利彩子、佐竹勝、稲葉敏樹、中裕俊介、嶋野広一、西野淳、廣田正博、石川大:園芸活動における効果と活動困難時の工夫について、日本園芸療法学会、信州大学、2011.10.29-30.

■社会活動

【編集スタッフ】

みどりハ 緑とリハビリテーションのいい関係 vol.1 創刊号. 大阪河崎リハビリテーション大学園芸療法勉強会, 貝塚市, 10 頁, 2011.3.

【学会運営】

社団法人日本作業療法士協会 WFOT 認定等教育水準審査委員長.

嶋野 広一

■論文

【原著】

嶋野広一, 倉澤茂樹, 上島健, 水野貴子, 長辻永喜, 佐竹勝: 新入生クラス分け試験と学内成績との関連性について. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 45-46.

【報告】

長辻永喜, 津田勇人, 嶋野広一, 藤平保茂, 小忝武陸, 高橋泰子, 稲葉敏樹, 清原政人, 西出純子: 「保健・医療・福祉分野のインターンシップ」シンポジウムの報告～文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:107-124.

■国内学会

【一般口演】

石川大, 西野淳, 廣田正博, 稲葉敏樹, 佐竹勝, 嶋野広一, 珠数美穂, 中裕俊介, 久利彩子: 園芸療法ノススメ～小冊子『みどりハ』作成の取り組み～. 第11回大老協懇話会, ホテル大阪ベイタワー, 2011.6.17.

【ポスター】

上島健, 安藤啓司, 嶋野広一, 武井麻喜: 陶芸作業前後における立位バランスの変化～荒練り作業が Functional Reach に与える影響～. 第45回日本作業療法学会, 大宮市, 2011.6.24-26.

嶋野広一, 上島健, 倉澤茂樹: 新入生クラス分け試験と2年次における学内成績との関連性について. 第45回日本作業療法学会, 大宮市, 2011.6.24-26.

珠数美穂, 久利彩子, 佐竹勝, 稲葉敏樹, 中裕俊介, 嶋野広一, 西野淳, 廣田正博, 石川大: 園芸活動における効果と活動困難時の工夫について. 日本園芸療法学会, 信州大学, 2011.10.29-30.

■社会活動

【非常勤講師】

介護等実習. 帝塚山大学, 2011.5.11.

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア大阪河崎リハビリテーション大学」, 河崎記念講堂他, 2011年度.

【編集スタッフ】

みどりハ 緑とリハビリテーションのいい関係 vol.1 創刊号. 大阪河崎リハビリテーション大学園芸療法勉強会, 貝塚市, 10 頁, 2011.3.

【学会運営】

第26回リハ工学カンファレンス実行委員. 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

武井 麻喜

■国内学会

【ポスター】

上島健, 安藤啓司, 嶋野広一, 武井麻喜: 陶芸作業前後における立位バランスの変化～荒練り作業が Functional Reach に与える影響～. 第45回日本作業療法学会, 大宮市, 2011.6.24-26.

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校 看護第1学科2年生, 2011.9.

【学会運営】

第26回リハ工学カンファレンス 実行委員, 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」. 河崎記念講堂 他, 2011.5-12.

津田 勇人

■論文

【報告】

長辻永喜, 津田勇人, 嶋野広一, 藤平保茂, 小恣武陸, 高橋泰子, 稲葉敏樹, 清原政人, 西出純子: 「保健・医療・福祉分野のインターンシップ」シンポジウムの報告～文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:107-124.

■講演会

【招待講演】

津田勇人: 肘・手関節についての機能解剖 知識の整理 Q&A. 和歌山県作業療法士会 学術部 和歌山市ブロック 学術部研修会, 角谷リハビリテーション病院, 2011.11.13.

■社会活動

【非常勤講師】

肢体不自由者の心理・生理・病理. 武庫川女子大学文学部教育学科2年生, 2011.4-9.

運動学Ⅰ・Ⅱ. 箕面学園保育福祉専門学校作業療法学科1年生, 2011年度.

【嘱託委員】

大阪市障害程度区分認定審査会委員 西成区役所, 2011.4-2013.3.

長辻 永喜

■論文

【原著】

小恣武陸, 藤野文崇, 岸本眞, 酒井桂太, 長辻永喜: 早期インターンシップ介入による臨床見学実習への効果. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 81-82.

嶋野広一, 倉澤茂樹, 上島健, 水野貴子, 長辻永喜, 佐竹勝: 新入生クラス分け試験と学内成績との関連性について. リハビリテーション教育研究 2011, 16: 45-46.

【報告】

長辻永喜, 津田勇人, 嶋野広一, 藤平保茂, 小忝武陸, 高橋泰子, 稲葉敏樹, 清原政人, 西出純子:「保健・医療・福祉分野のインターンシップ」シンポジウムの報告～文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:107-124.

■講演会

【招待講演】

長辻永喜: 身体障害の作業療法. 生涯教育制度現職者選択研修, 和歌山県作業療法士会主催, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2011.11.6.

■社会活動

【学会運営】

社団法人 大阪府作業療法士会会長.

堺市障害程度区分認定審査委員.

大阪府国民健康保険団体連合会 介護給付費審査委員.

大阪府医師会「医療モニター」.

第47回日本作業療法学会学会会長.

第26回リハ工学カンファレンス 実行委員. 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

中裕 俊介

■国内学会

【一般口演】

石川大, 西野淳, 廣田正博, 稲葉敏樹, 佐竹勝, 嶋野広一, 珠数美穂, 中裕俊介, 久利彩子: 園芸療法ノススメ～小冊子『みどりハ』作成の取り組み～. 第11回大老協懇話会, ホテル大阪ベイタワー, 2011.6.17.

【ポスター】

珠数美穂, 久利彩子, 佐竹勝, 稲葉敏樹, 中裕俊介, 嶋野広一, 西野淳, 廣田正博, 石川大: 園芸活動における効果と活動困難時の工夫について. 日本園芸療法学会, 信州大学, 2011.10.29-30.

■社会活動

【編集スタッフ】

みどりハ 緑とリハビリテーションのいい関係 vol.1 創刊号. 大阪河崎リハビリテーション大学園芸療法勉強会, 貝塚市, 10頁, 2011.3.

平本 憲二

■社会活動

【講師】

心理検査から「今の自分を知る」. NPO 法人翔夢, 大阪市平野区障がい者ふれあい交流センター, 2011.10.31.

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」. 河崎記念講堂 他, 2011.6-11.

【学会運営】

第26回リハ工学カンファレンス実行委員. 大阪市中央公会堂, 2011.8.24-26.

第3回泉州地域リハビリテーション研究会実行委員会スタッフ. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2011.10.28.

水野 貴子

■論文

【原著】

嶋野広一，倉澤茂樹，上島健，水野貴子，長辻永喜，佐竹勝：新入生クラス分け試験と学内成績との関連性について，リハビリテーション教育研究 2011, 16：45-46.

■社会活動

【講師】

あなたは右脳派？左脳派？～左右の脳の働き～. 岸和田支援学校「なんでも専科」, 岸和田支援学校, 2011.6.30.

あなたは右脳派？左脳派？～左右の脳の働き～. 社会福祉法人波除福祉会, 大阪府市岡東地域在宅サービスステーションさくら, 2011.11.10.

【非常勤講師】

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校看護第2学科2年生, 2011.1.

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」. 河崎記念講堂 他, 2011.6-11.

【学会運営】

第26回リハ工学カンファレンス実行委員. 大阪府中央公会堂, 2011.8.24-26.

【嘱託委員】

阪南市泉南市岬町障害程度区分認定審査会

森下 孝夫

■社会活動

【公開講座主催】

地域の子育て支援—食べるを学ぶ—. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2011.3.12.

【学会運営】

社団法人日本作業療法学会 演題審査委員.

<言語聴覚学専攻>

雨宮 徹

■著書

【訳本】

山田邦男 監訳, 岡本哲雄, 雨宮徹, 今井伸和 訳: ヴィクトール・E・フランクル著: 人間とは何か 実存的精神療法. 春秋社, 東京, 465頁, 2011.5.

■国内学会

【一般口演】

雨宮徹: フランクルの「精神」の概念について. 関西倫理学会, 関西大学, 2011.10.29.

■勉強会

【シンポジウム】

雨宮徹：3.11をどう受けとめるか—他者の苦悩について—。フランクフル研究会，大阪ガーデンパレス，2011.6.26.

■社会活動

【非常勤講師】

哲学。河崎会看護専門学校看護第2学科，2011.4.7.

倫理学Ⅰ。近畿大学，2011.4.7.

倫理学Ⅱ。近畿大学，2011.9-12.

【学会運営】

フランクフル研究会 事務局，大阪ガーデンパレス，2011.1-12.

稲葉 敏樹

■論文

【報告】

長辻永喜，津田勇人，嶋野広一，藤平保茂，小恠武陸，高橋泰子，稲葉敏樹，清原政人，西出純子：「保健・医療・福祉分野のインターンシップ」シンポジウムの報告～文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）～。大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:107-124.

■国内学会

【一般口演】

石川大，西野淳，廣田正博，稲葉敏樹，佐竹勝，嶋野広一，珠数美穂，中裕俊介，久利彩子：園芸療法ノススメ～小冊子『みどりハ』作成の取り組み～。第11回大老協懇話会，ホテル大阪ベイタワー，2011.6.17.

【ポスター】

珠数美穂，久利彩子，佐竹勝，稲葉敏樹，中裕俊介，嶋野広一，西野淳，廣田正博，石川大：園芸活動における効果と活動困難時の工夫について。日本園芸療法学会，信州大学，2011.10.29-30.

矢守麻奈，稲葉敏樹，木村秀生，高橋泰子：学生の記銘方略に関する要素。日本リハビリテーション学校協会 第24回教育研究大会，浜松市，2011.8.24-26.

■社会活動

【編集スタッフ】

みどりハ 緑とリハビリテーションのいい関係 vol.1 創刊号。大阪河崎リハビリテーション大学 園芸療法勉強会，貝塚市，10頁，2011.3.

木村 秀生

■国内学会

【一般口演】

木村秀生，郷間英世，岡田美智男：関係発達論的インタフェースとして開発中のロボットを使用したコミュニケーション発達支援の試み。第26回リハビリテーション工学カンファレンス，大阪市中央公会堂，2011.8.24-26.

木村幸，巨島文子，木原美奈子，今田智美，澤真澄，倉知智子，木村秀生，青柳陽一郎：吐き戻す習慣を矯正し経口摂取に至った球麻痺児の嚥下リハビリテーションの一例。日本嚥下医学会，東京慈恵会医科大学，2011.2.4-5.

【ポスター】

矢守麻奈，稲葉敏樹，木村秀生，高橋泰子：学生の記銘方略に関する要素．日本リハビリテーション学校協会
第24回教育研究大会，浜松市，2011.8.24-26.

■講演会・勉強会

【招待講演】

木村秀生：コミュニケーション発達支援について．泉南市立こども支援センター職員・保育所職員研修会，泉南
市立こども支援センター，2011.8.5.

木村秀生：摂食・嚥下の定型発達について．泉南市立こども支援センター職員研修会，泉南市立こども支援セン
ター，2011.11.16.

木村秀生：障がい乳幼児の摂食機能発達とその援助．大阪府泉佐野保健所障がい・難病児療育システム推進事業
学習交流会，泉佐野保健所，2011.11.30.

木村秀生：京都府内の発達障害児支援を巡る最近の動向．京都府言語聴覚士会小児部会学習交流会，京都市職員
会館かもがわ，2011.10.30

■社会活動

【講師】

コミュニケーションロボットから人と人との絆を考える．第6回高校生のための大学フェア，大学コンソーシア
ム大阪主催，大阪府教育センター，2011.7.18.

【非常勤講師】

言語治療学集中講義．奈良教育大学教育学部学校教育教員養成課程，2011.8.16-19.

言語聴覚学概論 小児の言語治療．新潟リハビリテーション大学，2011.10.22.

京都府立こども発達支援センター 非常勤嘱託，2011年度．

泉南市こども支援センター 子育て支援特別リーディング事業 言語相談員，2011年度．

大阪府立岸和田支援学校 福祉医療関係人材活用事業 特別非常勤講師，2011年度．

大阪府立和泉支援学校 福祉医療関係人材活用事業 特別非常勤講師，2011年度．

大阪府立藤井寺支援学校 福祉医療関係人材活用事業 特別非常勤講師，2011年度．

【学会運営】

京都府言語聴覚士会 副会長．

第26回リハビリテーション工学カンファレンス実行委員．

Developmental Disabilities Support in Kyoto (DDSK) 世話人．

【座長】

第26回リハビリテーション工学カンファレンス 一般演題 コミュニケーション2，大阪2011.8.24.

【公開講座主催】

第13回ことばのための発達心理学連続研修会「言語発達の認知的基盤」京都府言語聴覚士会主催．京都市職員
会館かもがわ，2011.10.30.

【嘱託委員】

京都府発達障害児者支援体制整備検討委員会 委員．

大阪府泉佐野保健所長期療養児在宅支援事業 相談員．

國末 和也

■著書

【研究成果報告書】

藤本裕人(研究代表), 前新直志, 國末和也(所外研究協力者): 障害のある子どもの学習言語に関する基礎的研究—授業で使用される教科書及び指導者が使用する言語の把握—. 平成21年度~平成22年度 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所専門研究D, 横須賀市, 41頁, 2011.3.

■論文

【総説】

三輪レイ子, 國末和也: 高齢難聴者とコミュニケーション—老人性難聴—. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:3-10.

【原著】

國末和也: 聴覚情報処理に関する困難さの種類. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:71-84.

■国内学会

【シンポジウム】

國末和也, 須藤正彦, 武居渡, 藤本裕人: 聴覚障害児の言語力~教育の立場から~聴覚障害児の学力. 感覚器障害戦略研究(聴覚分野)シンポジウム, 東京, 2011.6.18.

國末和也: 聴覚障害児の言語力~教育の立場から~聴覚障害児の学力. 感覚器障害戦略研究(聴覚分野)シンポジウム, 福岡, 2011.10.29.

國末和也: 聴覚障害児の学力について—教研式標準学力検査(CRT-II)からの考察—. 第49回日本特殊教育学会, 弘前大学, 2011.9.23.

【ポスター】

國末和也, 藤本裕人, 須藤正彦: 聴覚障害児の学力について—教研式標準学力検査の実施—. 日本特殊教育学会, 弘前大学, 2011.9.23-25.

■勉強会

國末和也: 聴覚情報、発音学習等. 支援学級担当教員対象 聴覚・補聴学習会, 大阪河崎リハビリテーション大学, 第22回~第27回, 2011.1-12.

■社会活動

【講師】

大人が子どもと遊ぶワザ~あそび・レクリエーション講座~. 貝塚市山手地区公民館, 2011.6.14.

【非常勤講師】

岡山県立岡山聾学校 高校エキスパート活用事業 非常勤講師, 2011.4-12.

大阪府立佐野支援学校 福祉医療活用事業 特別非常勤講師, 2011.5-12.

大阪府立佐野支援学校砂川校 福祉医療活用事業 特別非常勤講師, 2011.5-12.

大阪府立八尾支援学校 福祉医療活用事業 特別非常勤講師, 2011.5-12.

【公開講座主催】

地域の子育て支援—食べるを学ぶ—. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2011.3.12.

【嘱託委員】

日本言語聴覚士協会 職能部 学校教育.

貝塚市特別支援教育推進委員会 教育相談専門家チーム 委員。

厚生労働省「感覚器障害戦略研究（聴覚障害）」アドバイザー委員。

高橋 泰子

■論文

【報告】

長辻永喜，津田勇人，嶋野広一，藤平保茂，小森武陸，高橋泰子，稲葉敏樹，清原政人，西出純子：「保健・医療・福祉分野のインターンシップ」シンポジウムの報告～文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）～．大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:107-124.

■国内学会

【ポスター】

矢守麻奈，稲葉敏樹，木村秀生，高橋泰子：学生の記銘方略に関与する要素．日本リハビリテーション学校協会 第24回教育研究大会，浜松市，2011.8.24-26.

高橋泰子：WISC - IIIにおけるADHDとPDDの特性．日本発達心理学会，東京学芸大学，2011.3.26-28.

■メディア

【取材協力】

ほんわかテレビ「かん地蔵」．読売テレビ，2011.4.16.

■社会活動

【講師】

発達障害と言われたら．泉南市子ども支援センター，2011.9.

【非常勤講師】

障害児教育特論．和歌山大学特別支援教育専攻科，和歌山大学，2011.8.30-9.5

特別支援教育巡回指導員．大阪府豊能町教育委員会，2011年度

【嘱託委員】

特別支援教育会議 大阪府豊能町教育委員会，2011年度。

野村 和樹

■論文

【原著】

鈴木英鷹，野村和樹：古代の日本人の自殺について 『日本書紀』の自殺記事による検討．精神医学 2011, 53(2):191-196.

野村和樹，中川智子：社会的養護における支援に関する一考察．大阪体育大学短期大学部研究紀要 2011,12:45-58.

■社会活動

【非常勤講師】

社会福祉援助技術演習Ⅱ，Ⅲ．大阪体育大学健康福祉学部，2011年度。

社会福祉．河崎会看護専門学校 看護第1学科，2011年度。

【嘱託委員】

貝塚市社会教育委員。

三輪 レイ子

■論文

【総説】

三輪レイ子, 國末和也: 高齢難聴者とコミュニケーション—老人性難聴—. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2011, 5:3-10.

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割. 山口大学大学院医学系研究科保健学系学域, 2011.4-12.

リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割. 山口大学保健学科, 2011.4-12.

【その他】

NPO 法人「聴こえの研究センター」理事長.

矢守 麻奈

■著書

【共著】

矢守麻奈: X I 発声発語障害学 5. 摂食・嚥下障害 ,pp.381-394. 廣瀬肇 監修: 言語聴覚士テキスト第2版, 医歯薬出版, 東京, 407頁, 2011.3.

■論文

【原著】

Kazuhiro Hori, Kenichi Tamine, Cindy Barbezat, Yoshinobu Maeda, Mana Yamori, Frauke Müller, Takahiro Ono: Influence of Chin-down Posture on Tongue Pressure during Dry Swallow and Bolus Swallows in Healthy Subjects. Dysphagia 2011, 26:238-245.

■国内学会

【シンポジウム】

矢守麻奈: 在宅医療の展望—言語聴覚士の立場から—. 日本医学看護学教育学会第14回学術セミナー, 高野山大学, 2011.11.12.

【招待講演】

楠本季佐子, 久保田功, 齋藤務, 西野仁, 福田寛二, 矢守麻奈: 大学病院における嚥下リハビリテーションの取り組み. 第6回南河内リハビリテーション研究会, 大阪狭山市, 2011.9.16.

【ポスター】

矢守麻奈, 稲葉敏樹, 木村秀生, 高橋泰子: 学生の記銘方略に關与する要素. 日本リハビリテーション学校協会第24回教育研究大会, 浜松市, 2011.8.24-26.

■講演会・勉強会

【招待講演】

矢守麻奈: 摂食嚥下リハビリテーションの実際. 熊本県言語聴覚士会平成23年度生涯学習専門講座, アークホテル熊本, 2011.5.22.

矢守麻奈: 摂食嚥下リハビリテーションにおける職種間連携—新構成疾患を中心に—. 三重県言語聴覚士会 総

会・研修会，三重県人権センター，2011.6.5.

矢守麻奈：摂食嚥下リハビリテーション—急性期から認知症まで—。戸田中央病院グループ ST 部会研修会，
埼玉県戸田市 戸田中央看護専門学校，2011.7.16-17.

矢守麻奈：脳血管疾患・神経金疾患に対する摂食嚥下リハビリテーション。菊野病院リハビリテーション研修会，
鹿児島県南九州市，2011.8.27-28.

矢守麻奈：嚥下機能の評価と治療—チームアプローチとリスク管理を含めて—。河泉会 秋の特別講演会，大阪
河崎リハビリテーション大学，2011.9.23.

矢守麻奈：嚥下訓練の実際。千葉県言語聴覚士会 平成 23 年度生涯学習専門講座，千葉県文化会館，2011.11.27.

■メディア

【取材協力】

笑い飯「パン」～笑いの新境地～（DVD）。出張漫才 in 初台リハビリテーション病院，2011.

■社会活動

【非常勤講師】

臨床栄養学実習：摂食嚥下リハビリテーション—摂食嚥下障害への対応—。武庫川女子大学短期大学部食生活
学科 2 年生，2011.6.3,7,8,9.

リハビリテーション。河崎会看護専門学校 看護第 2 学科，2011.11.8,15,22,29.

臨床栄養学実習Ⅱ：摂食嚥下リハビリテーション—安全な食事のために—。武庫川女子大学生生活環境学部食物栄
養学科 3 年生，2011.12.2,6,8,13,15.

【講師】

楽しいコミュニケーションで認知機能低下を防ごう。貝塚市山手地区公民館 ことぶきクラブ，2011.7.26.

入門：熟年コミュニケーション—認知機能の低下を防ごう—。大阪市北区大淀老人福祉センター主催 生活豆知
識講座，2011.11.24

【座長】

がんりハビリテーションⅠ。第 12 回日本言語聴覚学会，郡山市民文化センター，2011.6.17-18. 第 6 回南河内リ
ハビリテーション研究会，大阪狭山市，2011.9.16.

【学会運営等】

一般社団法人 日本言語聴覚士協会 理事、広報部部長。

日本言語聴覚学会学術誌「言語聴覚学研究」編集委員。

日本言語聴覚士養成校教員連絡協議会 理事。

日本音声言語医学会 評議員。

日本嚥下障害臨床研究会 顧問。

関東嚥下訓練技術者講習会 世話人。

南大阪・紀北 NST 研究会 世話人。